

## (1) 平成27年度高松市伝統的ものづくり振興事業について

## ① 報告事項

## (ア) 夏休み親子体験教室

コース名	日程	人数	場所
① 菓子木型を使った 和三盆・練りきりづくり体験	7.29 (水)	午前9:30～ 小学生:14人 保護者10人 午後13:30～ 小学生:14人 保護者11人	高松市役所 3階32会議室
② イ草を使ったミニゴザ づくり体験(4年生以上)	7.29 (水)	午前9:30～ 小学生:14人 保護者13人 午後13:30～ 小学生:14人 保護者12人	高松市役所 3階32会議室
③ 讃岐のり染め藍染め ハンカチづくり体験	7.30 (木)	午前9:30～ 小学生:12人 保護者9人 午後13:30～ 小学生:13人 保護者11人	高松市埋蔵文化財 センター2階講座室
④ 五葉松の苔玉づくり体験	8.10 (月)	午前9:30～ 小学生:14人 保護者10人 午後13:30～ 小学生:13人 保護者10人	高松市埋蔵文化財 センター2階講座室
⑤ 讃岐かがり手まり づくり体験(4年生以上)	8.11 (火)	午前9:30～ 小学生:15人 保護者14人 午後13:30～ 小学生:11人 保護者8人	高松市埋蔵文化財 センター2階講座室

## < 事業内容 >

平成27年7月29日（水）

### ① 菓子木型を使った和三盆・練りきりづくり体験

最初に練りきりの餡を伸ばしたり、小さく丸めたりして形となるパーツを作り、大きな木型を使って伸ばしていきます。次に、小さな菓子木型を使った和三盆作りをしました。和三盆をふるいにかけて、ダマをとり、固まりやすいよう若干の水分や色素を加えました。参加した小学生同士で色の和三盆の貸し借りや、木型の貸し借りをしながら、実施しました。その後菓子木型職人の市原さんの木型の話や活動の話聞き、熱心にメモを取り、質問をしたり、彫っている様子を見たり、親子で楽しい学びの場となりました。



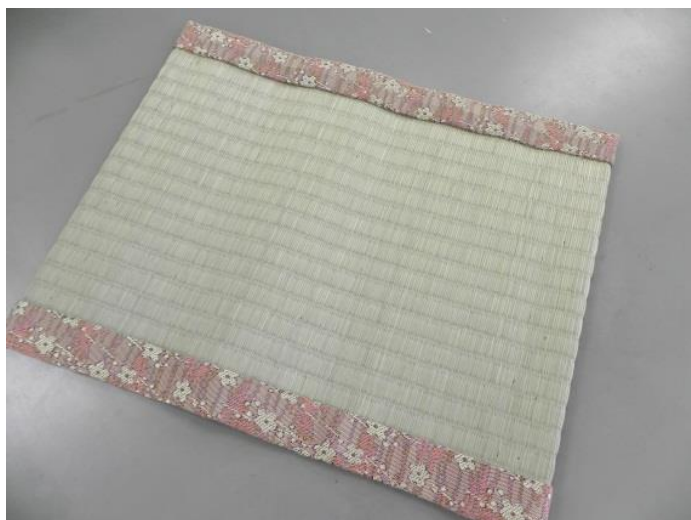
平成27年7月29日（水）

## ② イ草を使ったミニゴザづくり（小学4年生以上）

最初に畳や古式畳について実物を見ながら講義いただきました。その後作業に移ります。

まず、ゴザの縁の模様を各自が決め、必要な長さにカットし、材料を受け取ります。ゴザを自分の好きな大きさに折り、端を縫っていきます。端が縫い終わると、自分が選んだ模様の縁で装飾を行いました。

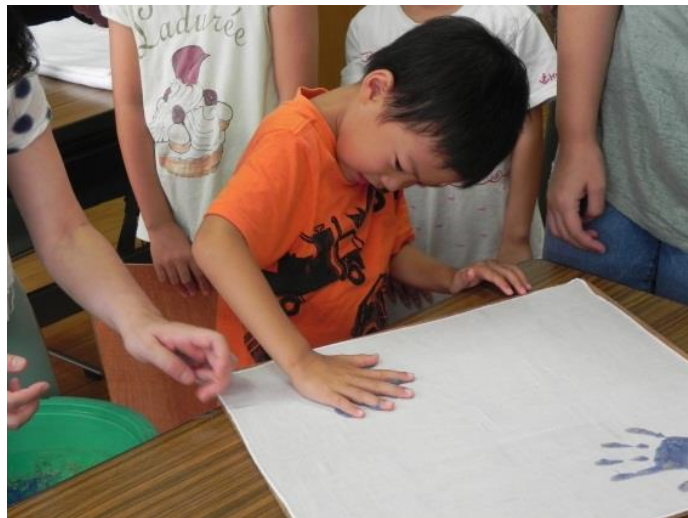
大き目の針を使うため、縫い方が少し難しかったり、厚めの生地を縫うため、力が必要な作業もあり、親子で協力して作業を行っている姿が多数見受けられました。



平成27年7月30日（木）

### ③ 讃岐のり染め藍染めハンカチづくり体験

最初に讃岐のり染めについてのれんや油単の写真を見せていただきながら講義いただきました。  
のり染めは、染めずに白く残したい部分に、のりをのせていきます。今回は、低学年の子でも簡単にできる、「手形」での模様作りを行いました。細かい模様をつけたい場合は、のりを入れた専用のペンを使い、模様を描いたり、つけたのりを割り箸で除けることで、模様をつけることができます。手形の中に割り箸で名前を入れたり、ペンで日付を入れたりする子が多数いました。藍の発酵したにおいを感じたり、繰り返し染め・乾かす作業を熱い中実施しました。最後はのりをはかして世界で一枚だけのオリジナルハンカチが完成しました。藍の葉の実物も持って来て下さり、葉を金づちで叩いて、参加して色が変化する様子も体験しました。



平成27年8月10日（月）

#### ④ 五葉松の苔玉づくり体験

最初に、松の産地である鬼無町のこと、松の植物のことや育て方について資料を活用し、講義いただきました。

本番に入る前に、ボールにストローを刺した模型で、糸の巻き方を勉強しました。

たくさんの苗木の中から、自分の気に入った、五葉松を選び、五葉松の苗木に、土を丸く付け形を作っていきます。その上に、苔を貼り付け、糸で巻いて苔を固定していきます。最後に、苔をハサミできれいに整え、完成させていました。親子で五葉松の今後の成長を楽しみにしているようで、持ち帰って大切に育てたいという声を多数聞きました。



平成27年8月11日（火）

⑤ 讃岐かがり手まりづくり体験（小学4年生以上）

最初に、讃岐かがり手まりの歴史や材料のことなどについて資料を活用し、講義いただきました。  
今回は初心者向けの星形の模様挑戦しました。土台に予め入れている目印に合わせて、手まりをかがっていきます。  
自分で好きな色の土台手まりを選び、好きな色の色を決め、どのようなグラデーションにするか親子で相談して決めていました。最初は慣れないようでしたが、思い思いの手まりを作成しました。  
作業時間が足りず、完成までいかない子も多数いましたが、持ち帰って完成させるのを楽しみにしていました。最後に、全員で、自分が作った手まりを手に、記念撮影を行いました。

